

## 暖房費節減資材の効果確認試験



試験1



試験2



現行1



現行2

## 試験目的

暖房費節減資材の効果確認試験

試験作物  
及び品種

花(アルストロメリア)

試験資材  
及び数量(規格)

ホッケーテン

## 慣行資材

なし

## 資材使用期間

12月18日~3月末

## 試験区面積

330㎡

## 試験結果

## (1)作業性について(慣行品との比較)

側面に取り付ける作業は特に負担を感じなかった。

## (2)作物の生育状況または、収穫への影響

試験の結果、暖房使用量は25%程度削減したにもかかわらず、生育状況・収量に違いはなかった。

## (3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】：暖房経費の削減が出来る点

## (4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

強度・耐久性について、一年目なので問題なく使用できた。

## (5)保温効果について

保温性が高く、暖房費抑制にとっても効果があった。両ハウスに暖房機(ネボンHK-2025)を使用した。試験区に関しては灯油使用時間は211時間、慣行区については279時間の使用となり、75%に軽減できた。

## モニター感想

収量・品質に差異はなく、暖房費を25%程度カットできたのは大きい。今後も継続して使用していきたいと思っている。継続して使用して、どれくらいの耐用年数があるのかを確認したいと思う。

## JA担当者の感想(経済部 奥村次長)

原油高騰の昨今、このような資材の試験は生産者にとってプラスとなると考える。この試験を基に管内生産者に使用を促していきたいと考えている。

## 今後の使用について

継続して使用したい。